

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		1	・1つの空間でもパーティションで仕切ったり、子ども達が過ごしやすい環境設定ができるよう努めている。 ・活動の内容によって部屋を分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか		2	3	・職員数によつては十分な支援内容に取り組みづらい状況がある。適切な配置数を確保して支援に取り組んでいきたい。 ・利用人数によっては足りないと感じることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	2	・入口に階段がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			・職員間で話し合う場面ももっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・評価表には職員が目を通し、意向等も含め業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3	・第三者評価を実施していない。且つ評価方法も把握していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・事業所内での研修は定期的に行われ参加できている。外部の研修にも積極的に参加していきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・面談や担当者会での情報を職員間で共有し、ニーズや課題を検討しながら作成している。 ・日々の様子を記録し、送迎時に保護者ニーズの聞き取りをする等計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4		・児童のアセスメントツールはほとんどが個別で、標準化を図るために話し合いを重ねている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・職員会で活動プログラムの立案を行っており、全体で意見を出し合いながら行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			・興味のある活動やニーズ等から、固定されないよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			・滞在時間やそれぞれのねらいに応じて課題を設定するようにしている。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・支援のねらいや特性に応じた活動が行えるように計画案を立てている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・朝礼時に、支援内容や役割分担を確認し、支援に取り組んでいる。 ・毎日午前中に朝礼を行い、確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			・終礼時に1日の振り返りを行い、気付いた点や支援内容を共有している。 ・毎日勤務の最後に終礼を行い情報を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			・ケース記録を支援終了後に記録するとともに内容を検証し、改善につなげている。 ・子どもの様子、気付いた点を記録している。	
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・定期的にもモニタリングを行い、支援内容の見直しをしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2		・ガイドラインの内容に沿った活動になっている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			・児発管が中心となって参加している。 ・現場の中心的指導員が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		・送迎時や担合等で情報共有を行っている。 ・情報共有に努めているものの、連絡の行き違いなど過去にあった。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			5	・医療的ケアが必要な児童の利用がない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			5	・保護者の要望によって行う場合があるが、事業所発信で行ったケースはない。ただ必要性があると感じている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2		3	・進路相談会や、担当者会を通じて情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1		4	・発達支援部主催の研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			5		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			2	3	・参加したことはない。そもそもどのように参加をするのか把握していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・送迎時に子どもの様子を報告している。 ・日々の送迎、連絡帳と個別面談時に情報共有を行っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		2	・セミナーを通して研修機会を設けている。 ・開所当初から外部講師招いて、ペアトレやSSTをテーマとした研修を保護者向けに実施している。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		・契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・送迎時や連絡帳を通して悩み事や相談事がある時は対応し、支援内容も含めた情報共有を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1		・保護者会を開催している。 ・保護者会や親子参加行事を行い交流と連携を深める活動に取り組んでいる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		・苦情受付窓口を設置することと、日々の支援に対する意見は職員間で共有し改善に向けた話し合いを行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		・活動や行事予定をお便りで配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			・職員への個人情報取り扱いについての周知を徹底し、個人情報についての使用方法を明記した同意書を契約時にいただいている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		・定期的に避難訓練を行い、非常災害を想定した訓練に取り組んでいる。 ・定期的に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	1	・個別支援計画内に記載していないが、保護者へ契約時に身体拘束についての説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		・食物アレルギーの有無等、確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・ファイルにまとめ、今後の対応等を検討できるようにしている。



